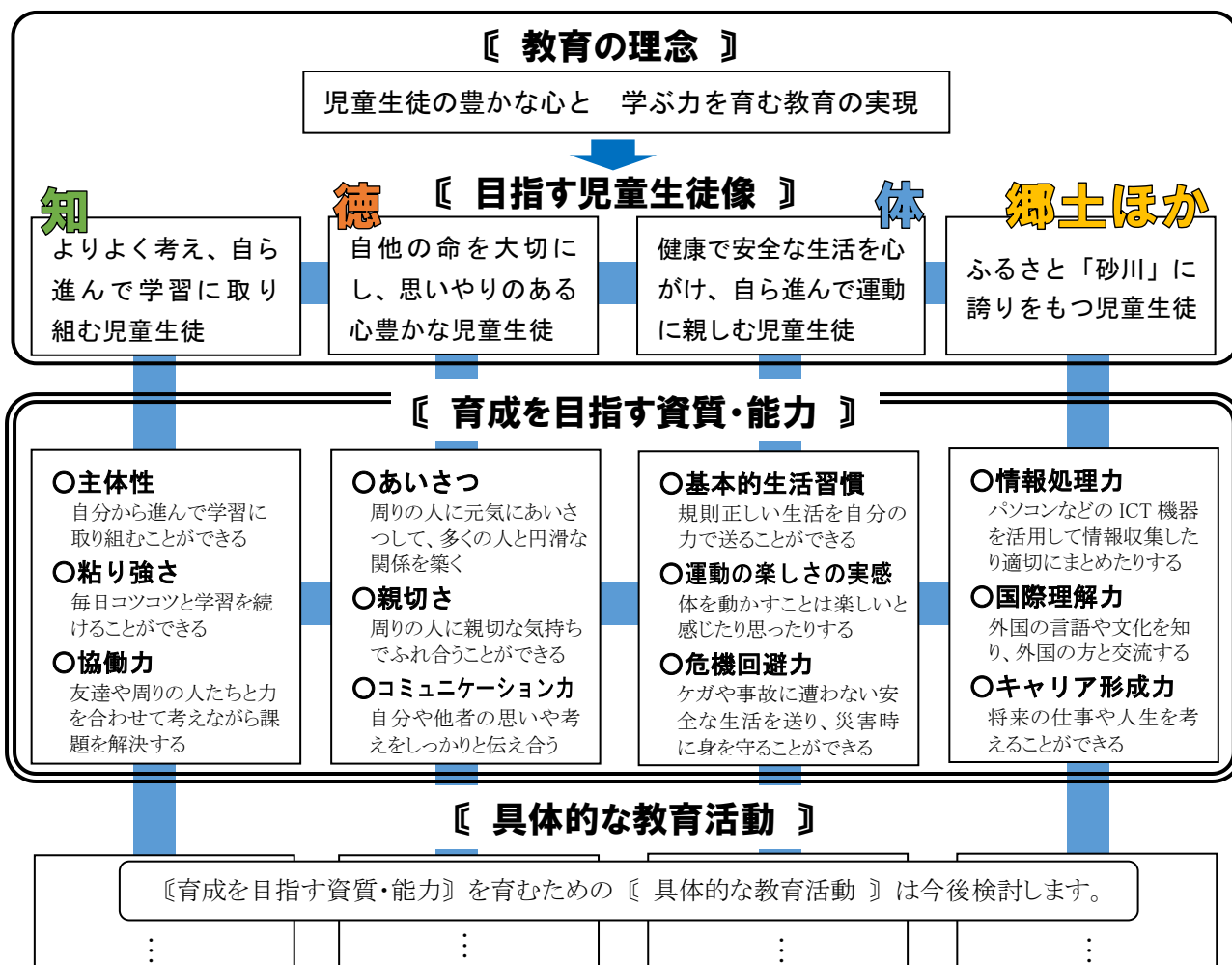


子ども達の「育成を目指す資質・能力」を設定しました

砂川市小中一貫教育推進委員会（以下「推進委員会」）では、小中一貫教育を実践するうえで目標や指針となる「砂川市小中一貫教育の目指す姿」の策定を進めています。この「目指す姿」は下図のように表されますが、すでに定められている『教育の理念』を踏まえた『目指す児童生徒像』の実現に向かうために、砂川市の全ての子ども達に重点的に育む「力」である『育成を目指す資質・能力』を設定する必要があると考えました。そこで、12月13日開催の推進委員会では、このことについて話し合い、二重枠内のとおり12の「力」に整理し、引き続き12の「力」を育むための具体的な教育活動の策定に向け検討することとしました。

なお、12の「力」は、各種学力・体力等に関わる過去数年間の諸調査における砂川市の子ども達の“よさ”や“課題”といった実態を踏まえるとともに、全小中学校の児童生徒や幼児の保護者の皆様に回答していただいた「学校でこんな力をつけたいなアンケート」において数多く選ばれた「力」を考慮したものです。また、アンケートの集計結果は前号でご紹介していたとおりです。

砂川市小中一貫教育の目指す姿



※「育成を目指す資質・能力」は、砂川市の義務教育学校で学ぶ全ての子ども達に、学校と家庭・地域が一体となって育む力です。

「義務教育学校の開校に向けた提言書（校名について）」の提出

12月8日（金）、砂川市立小中学校統合準備委員会（以下「準備委員会」）の松原会長から教育委員会へ「義務教育学校の開校に向けた提言書（校名について）」が提出されました。

準備委員会では、市民等を対象に実施した校名公募の結果、応募件数183件の中から校名候補を3案に絞った後、市内小中学校の児童生徒の投票を経て、投票結果も踏まえながら協議を行い、教育委員会へ義務教育学校の校名を「すながわしりつすながわがくえん砂川市立砂川学園」とする提言を行いました。

「砂川市立砂川学園」という校名は、準備委員会で決定した校名選定の5つの視点、①砂川をイメージできる校名、②覚えやすい校名、③書きやすい校名、④言いやすい校名、⑤親しみや愛着を持てる校名、を満たし、公募においても最も応募数が多く、また児童生徒による投票でも最多得票となっていました。



▲提言書提出の様子

乗り入れ授業を実施しました

11月27日（月）より、小中一貫教育に向けた取り組みの一環として、児童が中学校教員の専門的な指導を早期に受けることにより、中学校の授業に慣れることや、中学校が次年度以降に入学する児童の様子を把握するため、乗り入れ授業を実施しました。

前年度は、小学6年生を対象に中学校教員が小学校に乗り入れて授業を実施していましたが、今年度は対象を小学5・6年生に拡大し、小学生が中学校で授業を受ける形で実施しました。児童の中には、中学校の授業についていけるかどうか不安を持つ子や授業の進め方、黒板への板書の速さにびっくりした子もいましたが、「中学校の授業を知ることが出来て良かった」「思っていたより楽しく授業を受けることができた」といった感想を述べている子もたくさんいました。



▲社会



▲音楽



▲英語



▲体育

★小中学校統合の関係は、市ホームページでも公開しています。

URL：https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/kosodate_kyouiku/

[kyouikugyousei/2020-0827-1549-62.html](https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/kosodate_kyouiku/kyouikugyousei/2020-0827-1549-62.html)

右のQRからもアクセスできます



◆お問い合わせ 砂川市教育委員会学校再編課

住所：砂川市西7条北2丁目1番1号

電話：0125-74-4313 FAX：0125-74-8798 E-mail：saihen@city.sunagawa.lg.jp